※令和４年度以降入学生用

学校番号	105

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「公共」（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次で学んだ考え方や基本的原理を活用し、第２部「自立した主体として社会に参画する私たち」の続きを、経済，職業生活，国際社会の分野ごとに学習します。第２部は全５章 13 テーマで構成されています。その中で２年次は以下の項目について学習します。

第３章　経済　現代の経済と市場／市場経済における金融の働き／財政の役割と持続可能な社会保障制度

第４章　職業生活　働くことの意義と職業選択／労働者の権利と雇用・労働問題

第５章　国際　国際社会のルールとしくみ／国際社会と平和主義／国際平和への課題／グローバル化する国際経済

第３部では，持続可能な地域，国家・社会および国際社会づくりをにない，公共の精神をもった自立した主体になることをめざし，現代の諸課題を探究する学習活動に取り組みます。具体的には，自分の探究課題（問い）を決め，情報を収集し，読み取り整理した上で自分の主張を決め，ミニレポートを作成します。
これらの学習を通じて，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

・各テーマの冒頭の「追究しよう」では，テーマに関する具体的な課題を設定して，追究したり解決したりする活動のプロセス（「つかむ」→「考える」→「まとめる」）にそって学習します。
・授業プリントを活用して授業を実施します。プリントは穴埋めに沿って記入する箇所と、自分で意見を考えて記入する箇所に分かれています。自分の考えを文章で表現することが必要です。
・ChromeBook を活用して取り組む問題があります。家庭学習に役立ててください。

２　学習の到達目標

①　現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。

②　現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。

③　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をになう公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代の諸課題を捉え考察し,選択･判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から,倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	経済社会で生きる私たち	1. 私たちと経済 2. 市場経済のしくみ 3. 国民所得と経済成長	(a) 経済活動の意義，経済主体と経済循環，グローバル化のなかの経済活動の動きについて，実際の経済事象とも関連させながら理解する。 (b) 市場メカニズムの意義と限界，政府の役割が求められることとの関係について考察する。 (c) 事例等を用いて市場と経済についての課題に興味を持ち、主体的に捉えることができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート
		1. 金融のしくみと働き 2. 中央銀行の役割と金融環境の変化 3. 財政の働き 4. 財政の課題 5. 社会保障の考え方 6. 社会保障の課題とこれから	(a) 貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動きについて，実際の経済事象とも関連させながら理解する。 (b) 財政の課題を解決し持続可能な財政とするために，多面的・多角的に考察し議論する。 (c) 租税の分類，課税の原則，国債の役割，財政問題と財政危機について，実際の事象とも関連させながら，主体的に捉えることができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート
2学期	私たちの職業生活	1. 働くということ 2. 多様な職業選択 3. 労働者の権利 4. 現代の雇用・労働問題	(a) 働くことの意義，産業社会の発達と職業の変化，労働市場の役割などについて，実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。 (b) 仕事と家庭生活の両立，男女格差の解消，安定した雇用などにかかわる課題とその解決の方向性について考察する。 (c) 現代のさまざまな労働問題や労働環境の改善については，報道や関係の記事などをとおして，主体的に捉えることができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		1. 国際社会の成り立ち 2. 国際連合の役割 3. 日本の平和主義と冷戦 4. 冷戦後の世界と日本 5. 現代の紛争とその影響 6. 平和な国際社会に向けて 7. 貿易のしくみ	(a) 国際社会の成立とその特色，国際法の意義と役割，国際社会の主体の変化などについて，実際の国際的な事象と関連させながら理解する。 (b) 平和憲法をもつ日本として，国際平和に向けてどのような姿勢で何をなすべきか，多面的・多角的に考察し議論する。 (c) 主権国家内部の紛争や人権侵害について，他国や国際機関がどのように対処しているのか，具体例をあげながら主体的に捉えることができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート
3学期		1. 国際金融のしくみと動向 2. グローバル化と今日の国際経済 3. 国際経済の諸課題	(a) 為替のしくみと外国為替市場，国際通貨制度とその変化，国際金融の動向について，実際の経済的事象とも関連させながら理解する。 (b) 構造的な問題としての南北問題，人口・食料問題の解決には，どのような取り組みが考えられるか考察し議論する。 (c) 国際経済秩序については，国際協調の動きとともに保護主義・一国主義の動きがあることを事例から主体的に捉えることができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート
	持続可能な社会づくりに参画するために	1. 探究のイメージをつかもう 2. 探究プロセス	(a) 探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりするために必要なことをこれまでの授業内容と照らし合わせて改めて理解する。 (b) 現代の諸課題について，探究的な課題を設定し，課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりします。 (c) 課題設定の理由及び課題解決の仮説や見通を吟味し，グループ活動を通して主体的に学ぶことができる。	考査 授業プリント	考査 授業プリント ディスカッション	授業プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度